

令和7年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立馬込東中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

「知識・技能」「思考・判断・表現」は、全ての学年で目標値を上回っている。漢字ノートへの取組、小テストの実施や、検定への取組が、基礎的な力の向上につながったと考える。情報と情報の関係について理解したり、自分の考えを明確にして意見を述べたりすることについて指導を行ってきたことに一定の効果があったと考えられる。

(2) 課題

第1、2学年において、漢字の読み・書きの問題で誤答が多い問題があった。基礎的な言語事項の定着には引き続き取り組んでいきたい。また、第3学年では、読み取ったことや、それに対する自分の考えを表現する問題で課題が見られた。読み取ったことから自身の考えを広げたり、表現したりする力をつけるような学習活動を増やしていきたい。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第1学年	「知識・技能」は7.4ポイント、「思考・判断・表現」は14.6ポイント、「主体的に学習に取り組む態度」は9.0ポイント、目標値を上回っている。		
第2学年	「知識・技能」は8.3ポイント、「思考・判断・表現」は11.7ポイント、「主体的に学習に取り組む態度」は12.5ポイントと、どの観点も目標値を上回り、昨年度よりも、目標値との差は大きくなっているが、昨年同様「漢字を書く」内容で目標値を下回っている問題がある	「知識・技能」は4.4ポイント、「思考・判断・表現」は9.8ポイント、「主体的に学習に取り組む態度」は7.7ポイントと、どの観点も目標値を上回っている。しかし、問題の内容別正答率を見ると「漢字を書く」問題の正答率は目標値を下回っている。	
第3学年	「知識・技能」は11.0ポイントと目標値を大きく上回っているが、「思考・判断・表現」は2.6ポイントと目標値との開きがやや小さく、「主体的に学習に取り組む態度」は目標値を4.5ポイント下回っている。	「知識・技能」は7.5ポイント、「思考・判断・表現」は8.2ポイント、「主体的に学習に取り組む態度」は1.9ポイントと、どの観点も目標値を上回っているが、「主体的に学習に取り組む態度」の目標値との開きはやや小さい。	「知識・技能」で9.4ポイント、「思考・判断・表現」で9.0ポイント、「主体的に学習に取り組む態度」で7.3ポイントと、どの観点も目標値を大きく上回っている。

(2) 分析(観点別)

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を7.4ポイント上回る。漢字の読み書きにおいては目標値を下回る問題があり、無回答が目立つ。	ほぼ、目標値を5ポイント以上上回っているが、自分の考えとその理由を書く問題については、目標値と同程度である。記述問題については、無回答率が高かった。	目標値を5ポイント以上、上回っているが、自分の考えとその理由を書く問題は無回答率が高く、正答率は目標値と同程度である。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を8.3ポイント上回っているが、「漢字を書く」問題で一問目標値を下回る問題があり、「漢字を読む」問題で目標値と差がない問題が一問あった。	目標値を11.7ポイントと大きく上回っているが、「説明的な文章の読み取り」の、内容解釈をする問で、目標値よりも正答率が低かった。	目標値を12.5ポイントと大きく上回っている。特に、自分の考えが伝わるように書く問いや、読み手の立場に立って書く問いで、目標値に対して正答率が高かった。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「知識・技能」は11.0ポイントと目標値を大きく上回っている。ただし、漢字の読み書き、古典の正答率は目標値を上回っているが、文法事項・言語事項の問題は目標値と同程度である。	「思考・判断・表現」は2.6ポイントと目標値との開きがやや小さい。特に、目的や意図に応じて伝えたいことを明確にして書いたり、資料から読み取ったことやそれについての考えを書いたりする問題の正答率が低い。	「主体的に学習に取り組む態度」は目標値を4.5ポイント下回っている。特に、読み取ったことや伝えたいことが明確になるように書いたり、自分の考えを表現したりする問題の正答率が低い。

3 授業改善のポイント(観点別)

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字の読み書きに関して、漢字ワークへの取り組みや、小テストの実施等とおして定着を図る。	学習活動の中で、自分の考えを言語化し、その理由を他者に伝えるように書くことを意識させていく。	読書をとおして、文章に親しむ態度を育むよう支援する。また、スピーチや作品の掲示をとおして、他者に学ぶ機会を作る。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字の「読み・書き」に関しては、覚え間違いが目立つため、漢字ドリルで既習漢字も丁寧に確認し、授業内で定期的に振り返りのテストを行うことで定着を図る。	文章の構成や展開、段落のつながりを意識しながら、本文の要点や筆者の主張を捉える学習に取り組んでいく。	授業の中で、学んだことをふまえて自身の考えを書いたり、読み取ったことから自身の考えを広げたり、それを他者と共有したりするような活動に、継続して取り組んでいく。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字の読み・書きと、言語事項の定着を図るために、週に1～2回授業内で小テストを実施する。リレー式のテストを採用することで、家庭学習への取組を促す。	自身の考えを表現する力を伸ばすために、授業の中で、学んだことをふまえて自身の考えを書いたり、読み取ったことから自身の考えを広げたり、それを他者と共有する活動を取り入れる。	授業や単元の終わりに、学んだこととそれに対する自身の考えを言語化する活動を実施する。また、他者の意見と比較することで、どうすれば考えが相手に伝わるかも考えさせる。